

令和4年5月27日

保護者の皆様

うるま市立与那城小学校
校長 幸喜 徹
〈公印省略〉

「喫煙、飲酒、薬物乱用」に関すること（お知らせ）

新緑の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今週の新聞等で「集団飲酒中学生4人補導」との報道がありました。

喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関する内容は、学校では体育科保健領域を中心に特設授業なども交えながら指導をしています。

今後、同様の事件が起こらないためには、保護者や地域の皆様との連携が欠かせません。そのために、ご家庭でも「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」に関することの確認をお願いします。

児童の健康について、ご理解・ご協力をおねいします。また、学校でも引き続き、児童の健康についてのご指導を続けてまいります。

< 裏面もご覧ください >

保護者や地域の皆様へ ～緊急メッセージ～

日頃より、保護者や地域の皆様おかれましては、うるま市の子供たちの健全育成に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

先日、新聞報道でもありましたように、飲酒により市内の中学生4名が補導されました。

これまで市内の小中学校では、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関する内容を、小学校では体育科保健領域、中学校では保健体育科保健分野を中心に指導するとともに、警察等の専門職を招聘し特設授業なども行いながら指導しています。

しかし、今後、同様の事件が起こらないようにするためには保護者や地域の皆様との連携が欠かせません。

保護者や地域の皆様には「未成年者飲酒を防ぐために大人ができること」として次の3点に御協力をお願いいたします。

第一に、毅然とした態度をとるといことです。

大人が「未成年者飲酒は絶対にいけない」と毅然とした態度をとりましょう。

少しなら…、正月だから…と例外を作ってはいけません。

第二に、飲酒がいけない理由を説明するといことです。

体や脳に悪いから、事故にあわないように、法律違反など、未成年者の飲酒がいけない理由をきちんと説明し、自分自身を守るためと、理解させましょう。

第三に、日頃から「話ができる関係」をつくっておくといことです。

子供が大人の言葉を素直に聞くために、ふだんからコミュニケーションをとることが大切です。いつもは話をしないのに、頭ごなしに飲酒をとがめても反発します。言いやすく、子供が受け入れやすい関係をつくりましょう。

今後も、保護者や地域の皆様におかれましては学校と連携しながら子供たちの健全育成に御協力をお願いいたします。

令和4年5月

うるま市教育委員会教育長

嘉手苺 弘美